



ヤングコーナー

冬のオススメ本紹介



YA担当より

寒い季節がやってきましたね。こんな寒い日には、お家でまったりと読書をしながらか過すのもいいですね。ヤングコーナーにはほかにもさまざまな分野を取りそろえているので、ぜひ手にとってみてくださいね。

①

『国谷裕子と考えるSDGsがわかる本』

国谷 裕子 / 監修
文溪堂
YA書架 333ク



「SDGs」とは、世界193の国々が加盟する国連がつくった「持続可能な開発目標」のことです。

今、世界中にある様々な課題。それを、みんなで行動を起こし、解決していくために必要な目標がこの「SDGs」です。

この本では環境や貧困・人権・開発・平和など、17の項目に分けて、世界の現状や目標をわかりやすく解説しています。

ゴールにあるのは2030年の未来。その時、あなたはなにをしているでしょうか？未来を見据えて、今、自分ができることを考えてみませんか？

②

『大渋滞』

いとう みく / 作
いつか / 絵
PHP 研究所
YA書架 913イ



麦は、パパ・ママ・弟の4人家族。ママの妹の結婚式に出席するために、車で名古屋に向かっていました。本来なら楽しい旅行のはずなのに、車の中はおかしな雰囲気。

それは、渋滞に巻き込まれたことだけが理由ではなく、この旅行を最後にパパとママが離婚してしまうからで…。

渋滞中に巻き起こるいろいろな出来事を通して、麦と家族が絆を深めていくお話です。

③

『14歳からの社会学 これからの社会を生きる君に』

宮台 真司 / 著
世界文化社
YA書架 361ミ



社会も人間も、不完全であるからこそ、よりよくなろうとして前に進もうとします。著者は言います。『不完全なく社会』の中で生きている不完全なぼくたちは、〈世界〉に直接つながることで安らかな気持ちになれる。『〈社会〉の中で生きながら、〈世界〉の中で生きているという感覚を持つことが大切だ』と。〈世界〉ってどんなものでしょう。

本書には、著者がこれからの社会を生きる君のために、伝えたかったたくさんの言葉がつまっています。

④

『60秒のきせき 子ネコがつくったピアノ曲』

レスリア・ニューマン / ぶん
エイミー・ジュン・ベイツ / え
小川 仁央 / やく
評論社
YA書架 Eベ



モシェは、音に耳を傾けて曲をつくる作曲家。ある日、彼のもとにコンテストのお知らせが届きます。なんと応募は60秒以内の作品！そんなのむりだ、と言いつつも、モシェはコンテストに応募するため曲を作りますが、やはりうまくいきません。そんなとき、飼い猫の子ネコのケツェルが、ピアノの鍵盤の上を歩いていき…。

実話をもとに書かれたおはなしで、この子ネコがつくった楽曲は、実際に60秒のピアノ曲としてCDにもなっています。読んで気になったら、ぜひ探して聴いてみてください。



YAとは…ヤングアダルトの略で、「子どもでも大人でもない世代」のこと。13歳から19歳くらいが主な対象です。

